

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院148施設、有床診療所182施設のうち、報告があった病院148施設(100.0%)、有床診療所182施設(100%)を対象として集計した結果

○平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

《2017(平成29)年7月1日時点の病床数(許可病床)》

→《6年が経過した日(2023(平成35)年)における病床数(許可病床)》

二次医療圏名	機能区分	一般	療養	計	構成比	一般	療養	計	構成比
静岡県全体	高度急性期	5,059	0	5,059	15.7%	5,250	0	5,250	16.5%
	急性期	13,016	12	13,028	40.5%	12,963	32	12,995	40.9%
	回復期	2,255	1,861	4,116	12.8%	2,423	2,291	4,714	14.8%
	慢性期	1,411	8,579	9,990	31.0%	1,524	7,301	8,825	27.8%
	合計	21,741	10,452	32,193		22,160	9,624	31,784	
01 賀茂	高度急性期	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
	急性期	361	0	361	41.2%	321	0	321	36.6%
	回復期	137	41	178	20.3%	177	41	218	24.9%
	慢性期	80	258	338	38.5%	80	258	338	38.5%
	小計	578	299	877		578	299	877	
02 熱海伊東	高度急性期	68	0	68	5.6%	68	0	68	5.6%
	急性期	578	0	578	47.2%	578	0	578	47.2%
	回復期	158	0	158	12.9%	158	0	158	12.9%
	慢性期	74	346	420	34.3%	74	346	420	34.3%
	小計	878	346	1,224		878	346	1,224	
03 駿東田方	高度急性期	755	0	755	11.6%	755	0	755	11.7%
	急性期	3,153	0	3,153	48.5%	3,138	0	3,138	48.8%
	回復期	363	401	764	11.7%	395	442	837	13.0%
	慢性期	276	1,557	1,833	28.2%	329	1,374	1,703	26.5%
	小計	4,547	1,958	6,505		4,617	1,816	6,433	
04 富士	高度急性期	68	0	68	2.6%	110	0	110	4.1%
	急性期	1,394	0	1,394	52.3%	1,423	0	1,423	53.6%
	回復期	226	237	463	17.4%	191	338	529	19.9%
	慢性期	52	688	740	27.8%	52	541	593	22.3%
	小計	1,740	925	2,665		1,776	879	2,655	
05 静岡	高度急性期	1,578	0	1,578	23.8%	1,578	0	1,578	24.6%
	急性期	2,132	0	2,132	32.2%	2,263	0	2,263	35.3%
	回復期	413	417	830	12.5%	408	477	885	13.8%
	慢性期	457	1,627	2,084	31.5%	453	1,230	1,683	26.3%
	小計	4,580	2,044	6,624		4,702	1,707	6,409	
06 志太榛原	高度急性期	251	0	251	7.6%	251	0	251	7.3%
	急性期	1,802	0	1,802	54.3%	1,852	0	1,852	54.2%
	回復期	272	159	431	13.0%	322	297	619	18.1%
	慢性期	1	836	837	25.2%	51	646	697	20.4%
	小計	2,326	995	3,321		2,476	943	3,419	
07 中東遠	高度急性期	289	0	289	9.3%	438	0	438	14.3%
	急性期	1,174	0	1,174	37.7%	977	0	977	31.9%
	回復期	307	206	513	16.5%	355	256	611	19.9%
	慢性期	2	1,138	1,140	36.6%	0	1,038	1,038	33.9%
	小計	1,772	1,344	3,116		1,770	1,294	3,064	
08 西部	高度急性期	2,050	0	2,050	26.1%	2,050	0	2,050	26.6%
	急性期	2,422	12	2,434	31.0%	2,411	32	2,443	31.7%
	回復期	379	400	779	9.9%	417	440	857	11.1%
	慢性期	469	2,129	2,598	33.0%	485	1,868	2,353	30.5%
	小計	5,320	2,541	7,861		5,363	2,340	7,703	

集計対象 33,290床

※医療機能について未選択(休棟等)の1,097床は、上表には含めていない。

※医療機能について未選択(休棟等)618床及び介護保険施設等への移行分888床は、上表には含めていない。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院148施設、有床診療所182施設のうち、報告があった病院148施設(100.0%)、有床診療所182施設(100.0%)を対象として集計した結果

○平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

【2017(平成29)年7月1日時点の病床数(許可病床)】

医療圏 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	5,059床 15.7%	0床 0.0%	68床 5.6%	755床 11.6%	68床 2.6%	1,578床 23.8%	251床 7.6%	289床 9.3%	2,050床 26.1%
	急性期	13,028床 40.5%	361床 41.2%	578床 47.2%	3,153床 48.5%	1,394床 52.3%	2,132床 32.2%	1,802床 54.3%	1,174床 37.7%	2,434床 31.0%
		回復期	4,116床 41.2%	178床 52.7%	158床 37.6%	764床 41.7%	463床 62.6%	830床 39.8%	431床 51.5%	513床 45.0%
	慢性期	9,990床 31.0%	338床 38.5%	420床 34.3%	1,833床 28.2%	740床 27.8%	2,084床 31.5%	837床 25.2%	1,140床 36.6%	2,598床 33.0%
		合計	32,193床	877床	1,224床	6,505床	2,665床	6,624床	3,321床	3,116床
	一般病床	高度急性期	5,059床	0床	68床	755床	68床	1,578床	251床	289床
急性期		13,016床	361床	578床	3,153床	1,394床	2,132床	1,802床	1,174床	2,422床
回復期		2,255床	137床	158床	363床	226床	413床	272床	307床	379床
慢性期		1,411床	80床	74床	276床	52床	457床	1床	2床	469床
小計		21,741床	578床	878床	4,547床	1,740床	4,580床	2,326床	1,772床	5,320床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	12床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	12床
	回復期	1,861床	41床	0床	401床	237床	417床	159床	206床	400床
	慢性期	8,579床	258床	346床	1,557床	688床	1,627床	836床	1,138床	2,129床
	小計	10,452床	299床	346床	1,958床	925床	2,044床	995床	1,344床	2,541床

※集計対象33,290床のうち、医療機能について未選択の1,097床は、上表には含めていない。



【6年が経過した日(2023(平成35))年における病床数(許可病床)】

医療圏 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	5,250床 16.5%	0床 0.0%	68床 5.6%	755床 11.7%	110床 4.1%	1,578床 24.6%	251床 7.3%	438床 14.3%	2,050床 26.6%
	急性期	12,995床 40.9%	321床 36.6%	578床 47.2%	3,138床 48.8%	1,423床 53.6%	2,263床 35.3%	1,852床 54.2%	977床 31.9%	2,443床 31.7%
		回復期	4,714床 14.8%	218床 24.9%	158床 12.9%	837床 13.0%	529床 19.9%	885床 13.8%	619床 18.1%	611床 19.9%
	慢性期	8,825床 27.8%	338床 38.5%	420床 34.3%	1,703床 26.5%	593床 22.3%	1,683床 26.3%	697床 20.4%	1,038床 33.9%	2,353床 30.5%
		合計	31,784床	877床	1,224床	6,433床	2,655床	6,409床	3,419床	3,064床
	一般病床	高度急性期	5,250床	0床	68床	755床	110床	1,578床	251床	438床
急性期		12,963床	321床	578床	3,138床	1,423床	2,263床	1,852床	977床	2,411床
回復期		2,423床	177床	158床	395床	191床	408床	322床	355床	417床
慢性期		1,524床	80床	74床	329床	52床	453床	51床	0床	485床
小計		22,160床	578床	878床	4,617床	1,776床	4,702床	2,476床	1,770床	5,363床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	32床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	32床
	回復期	2,291床	41床	0床	442床	338床	477床	297床	256床	440床
	慢性期	7,301床	258床	346床	1,374床	541床	1,230床	646床	1,038床	1,868床
	小計	9,624床	299床	346床	1,816床	879床	1,707床	943床	1,294床	2,340床

※集計対象33,290床のうち、医療機能について未選択(休棟等)618床及び介護保険施設等への移行分888床は、上表には含めていない。

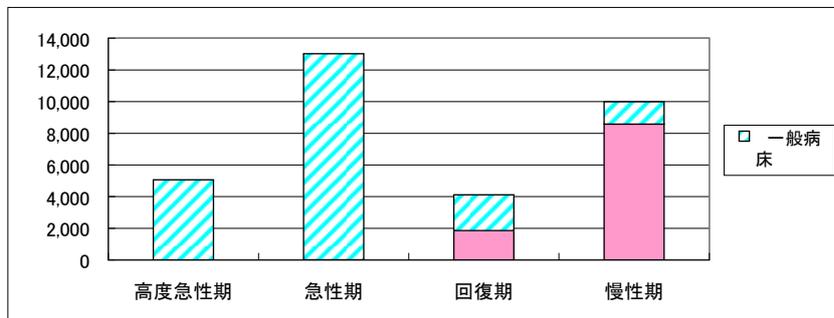
許可病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

- ・報告対象となる330施設（病院148施設、有床診療所182施設）のうち、330施設（100.0%）（病院148施設（100.0%）、有床診療所182施設（100.0%））が報告済み。
- ・報告された許可病床数合計は、33,290床（一般病床22,736床、療養病床10,554床）
- ・「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった330施設（病院148施設、有床診療所182施設）の許可病床33,290床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

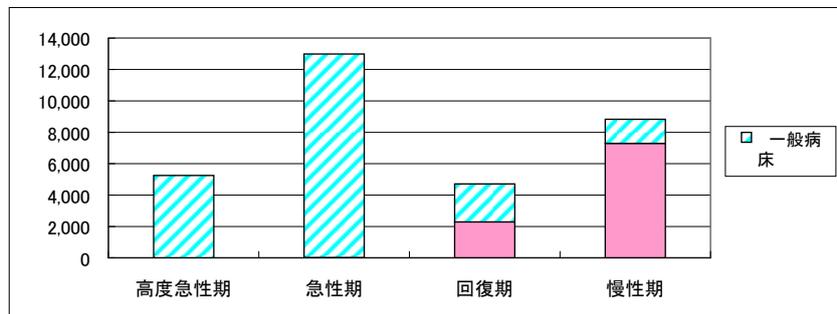


（単位：床、%）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,059	13,016	2,255	1,411	21,741
療養病床	0	12	1,861	8,579	10,452
合計	5,059	13,028	4,116	9,990	32,193
構成比	15.7%	40.5%	12.8%	31.0%	100.0%

（注）集計対象33,290床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が1,097床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2023（平成35）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



（単位：床、%）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,250	12,963	2,423	1,524	22,160
療養病床	0	32	2,291	7,301	9,624
合計	5,250	12,995	4,714	8,825	31,784
構成比	16.5%	40.9%	14.8%	27.8%	100.0%

（注）集計対象33,290床のうち、未選択（休棟等）の618床及び介護保険施設等への移行分888床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

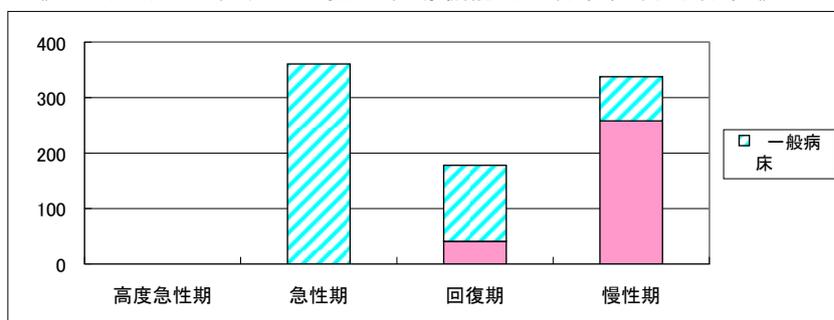
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる9施設（病院6施設、有床診療所3施設）全てが報告済み。（100.0%）
 ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、急性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

※報告のあった9施設（病院6施設、有床診療所3施設）の許可病床877床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

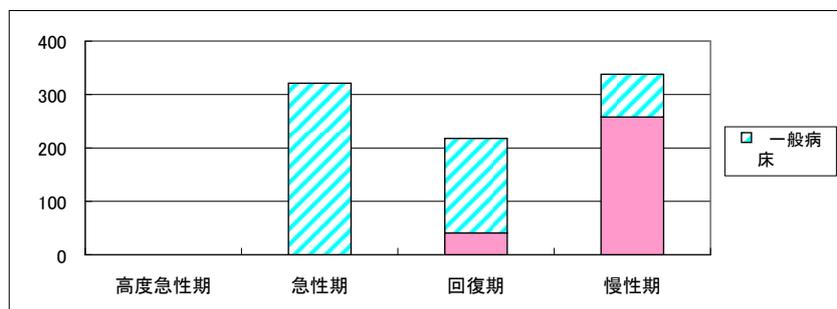


（単位：床、%）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	361	137	80	578
療養病床	0	0	41	258	299
合計	0	361	178	338	877
構成比	0.0%	41.2%	20.3%	38.5%	100.0%

（注）集計対象877床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床は無い。

《6年が経過した日（2023（平成35）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



（単位：床、%）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	321	177	80	578
療養病床	0	0	41	258	299
合計	0	321	218	338	877
構成比	0.0%	36.6%	24.9%	38.5%	100.0%

（注）集計対象877床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床は無い。

許可病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

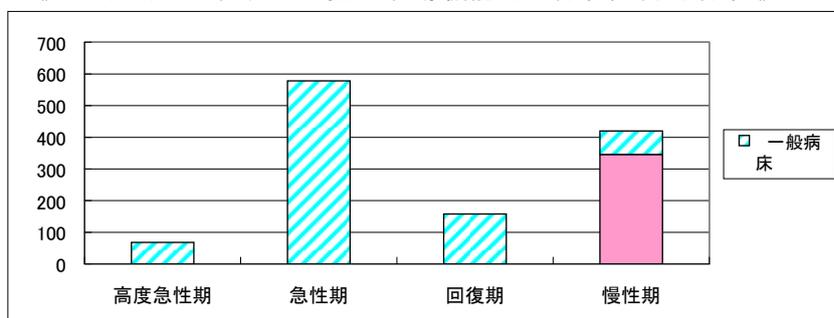
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる19施設（病院8施設、有床診療所11施設）全てが報告済み。（100.0%）
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

- ・6年後、各医療機能の構成比に変化なし

※報告のあった19施設（病院8施設、有床診療所11施設）の許可病床1,234床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

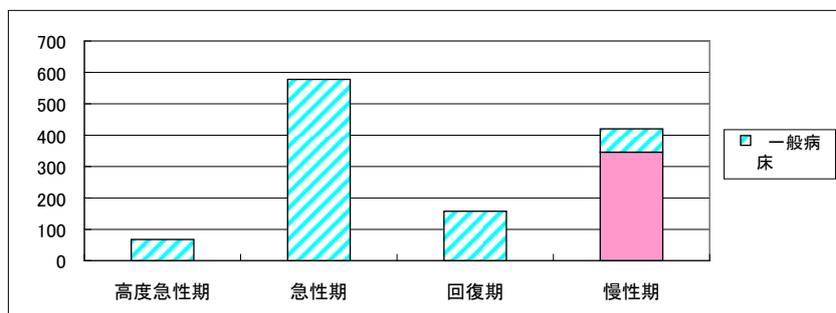


（単位：床、%）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	68	578	158	74	878
療養病床	0	0	0	346	346
合計	68	578	158	420	1,224
構成比	5.6%	47.2%	12.9%	34.3%	100.0%

（注）集計対象1,234床のうち、現時点の医療機能について未選択（休棟等）の病床が10床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2023（平成35）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



（単位：床、%）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	68	578	158	74	878
療養病床	0	0	0	346	346
合計	68	578	158	420	1,224
構成比	5.6%	47.2%	12.9%	34.3%	100.0%

（注）集計対象1,234床のうち、現時点の医療機能について未選択（休棟等）の病床が10床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

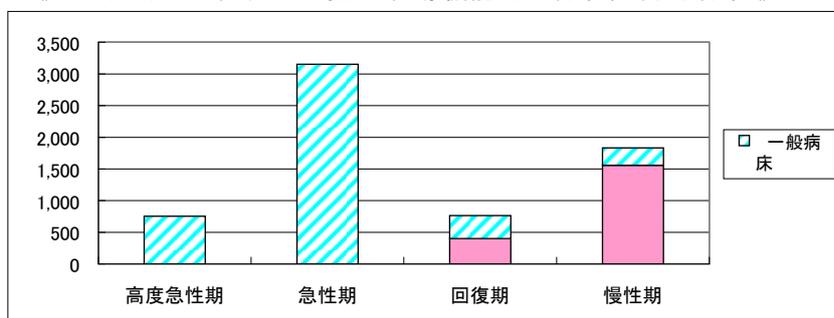
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる88施設（病院42施設、有床診療所46施設）のうち、88施設(100.0%)(病院42施設(100.0%)、有床診療所46施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった88施設(病院42施設、有床診療所46施設)の許可病床6,778床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

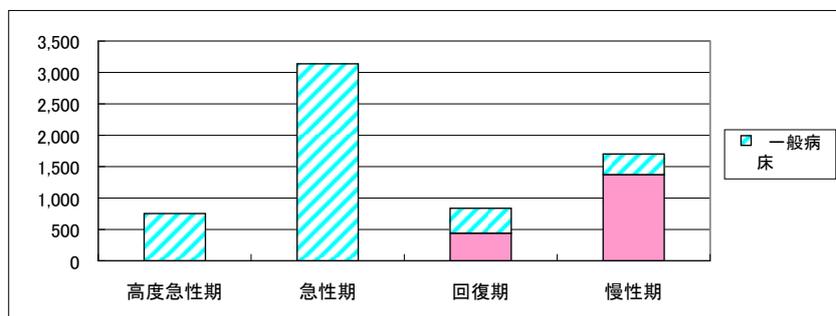


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	755	3,153	363	276	4,547
療養病床	0	0	401	1,557	1,958
合計	755	3,153	764	1,833	6,505
構成比	11.6%	48.5%	11.7%	28.2%	100.0%

(注)集計対象6,778床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)の病床が273床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	755	3,138	395	329	4,617
療養病床	0	0	442	1,374	1,816
合計	755	3,138	837	1,703	6,433
構成比	11.7%	48.8%	13.0%	26.5%	100.0%

(注)集計対象6,778床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)168床及び介護保険施設等への移行分177床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

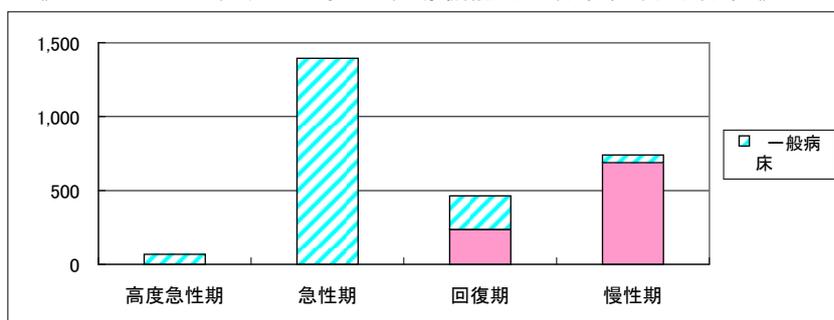
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる38施設（病院13施設、有床診療所25施設）のうち、38施設(100.0%)（病院13施設(100.0%)、有床診療所25施設(100.0%)）が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった38施設（病院13施設、有床診療所25施設）の稼働病床2,826床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

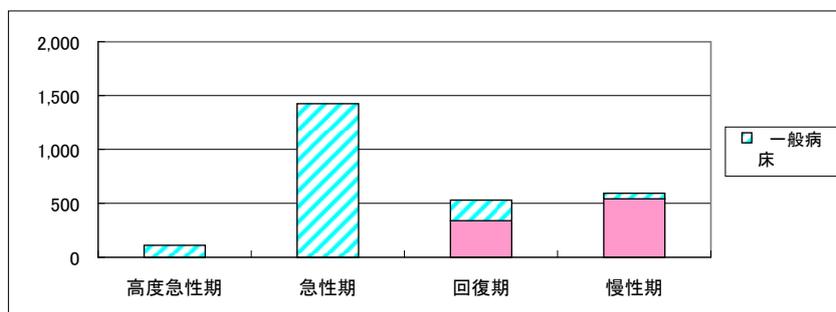


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	68	1,394	226	52	1,740
療養病床	0	0	237	688	925
合計	68	1,394	463	740	2,665
構成比	2.6%	52.3%	17.4%	27.8%	100.0%

(注)集計対象2,826床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)の病床が161床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	110	1,423	191	52	1,776
療養病床	0	0	338	541	879
合計	110	1,423	529	593	2,655
構成比	4.1%	53.6%	19.9%	22.3%	100.0%

(注)集計対象2,826床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)125床及び介護保険施設等への移行分46床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

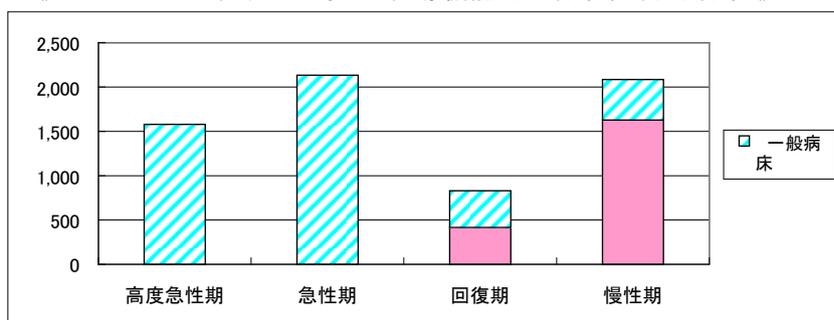
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる48施設（病院24施設、有床診療所24施設）のうち、48施設(100.0%)(病院24施設(100.0%)、有床診療所24施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった48施設(病院24施設、有床診療所24施設)の稼働病床6,846床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

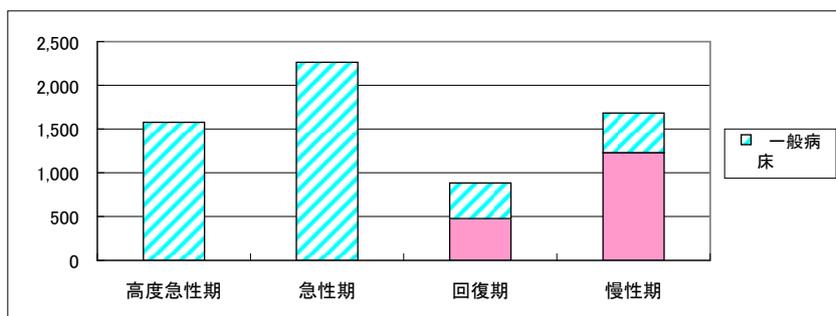


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,578	2,132	413	457	4,580
療養病床	0	0	417	1,627	2,044
合計	1,578	2,132	830	2,084	6,624
構成比	23.8%	32.2%	12.5%	31.5%	100.0%

(注)集計対象6,846床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)の病床が222床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,578	2,263	408	453	4,702
療養病床	0	0	477	1,230	1,707
合計	1,578	2,263	885	1,683	6,409
構成比	24.6%	35.3%	13.8%	26.3%	100.0%

(注)集計対象6,846床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)59床及び介護保険施設等への移行分378床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

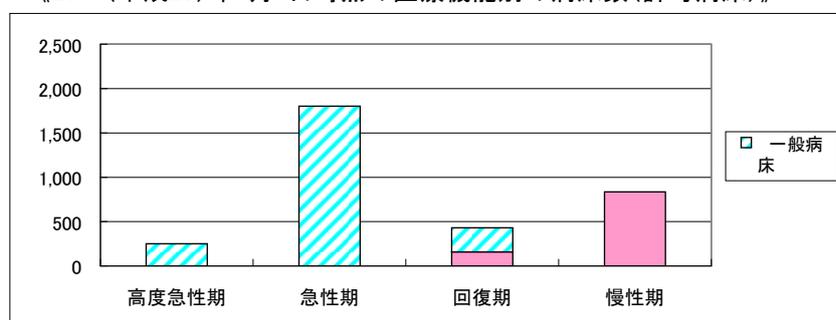
○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる25施設（病院11施設、有床診療所14施設）のうち、25施設(100.0%)（病院11施設(100.0%)、有床診療所14施設(100.0%)）が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、高度急性期、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

※報告のあった25施設（病院11施設、有床診療所14施設）の稼働病床3,526床について集計したもの

《2017（平成29）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

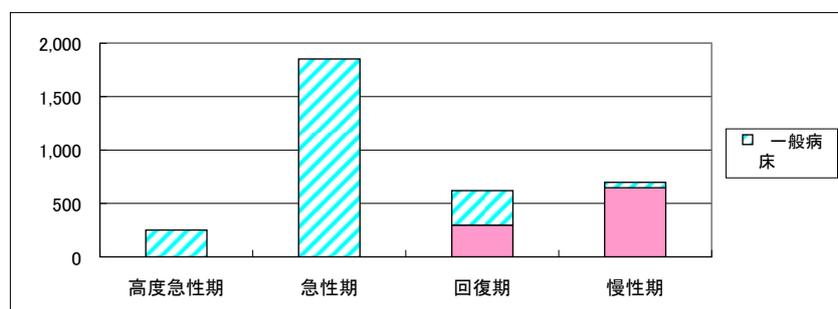


（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,802	272	1	2,326
療養病床	0	0	159	836	995
合計	251	1,802	431	837	3,321
構成比	7.6%	54.3%	13.0%	25.2%	100.0%

（注）集計対象3,526床のうち、現時点の医療機能について未選択（休棟等）の病床が205床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2023（平成35）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,852	322	51	2,476
療養病床	0	0	297	646	943
合計	251	1,852	619	697	3,419
構成比	7.3%	54.2%	18.1%	20.4%	100.0%

（注）集計対象3,526床のうち、現時点の医療機能について未選択（休棟等）90床及び介護保険施設等への移行分17床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

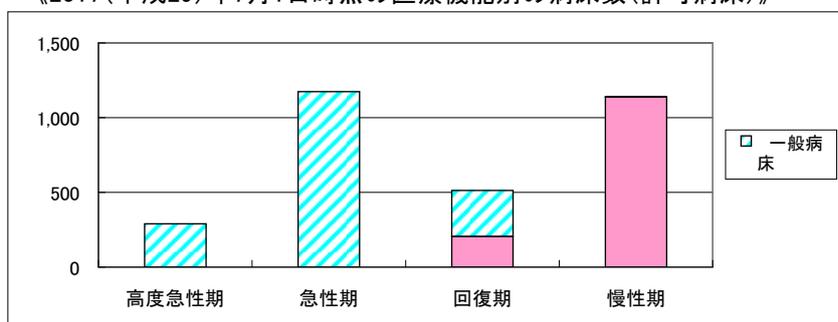
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる31施設（病院14施設、有床診療所17施設）のうち、31施設(100.0%)(病院14施設(100.0%)、有床診療所17施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった31施設(病院14施設、有床診療所17施設)の稼働病床3,144床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

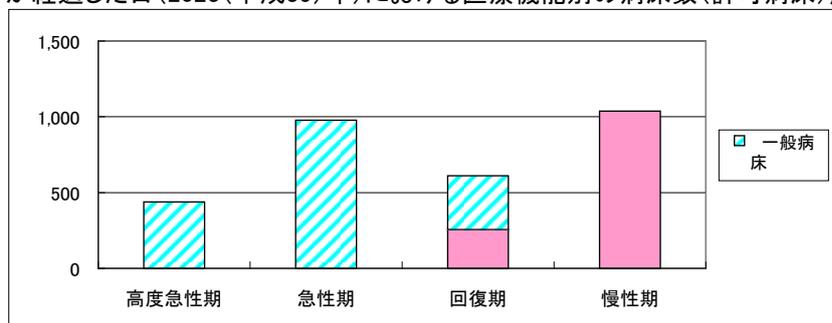


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	289	1,174	307	2	1,772
療養病床	0	0	206	1,138	1,344
合計	289	1,174	513	1,140	3,116
構成比	9.3%	37.7%	16.5%	36.6%	100.0%

(注)集計対象3,144床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)の病床が28床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	438	977	355	0	1,770
療養病床	0	0	256	1,038	1,294
合計	438	977	611	1,038	3,064
構成比	14.3%	31.9%	19.9%	33.9%	100.0%

(注)集計対象3,144床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)30床及び介護保険施設等への移行分50床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

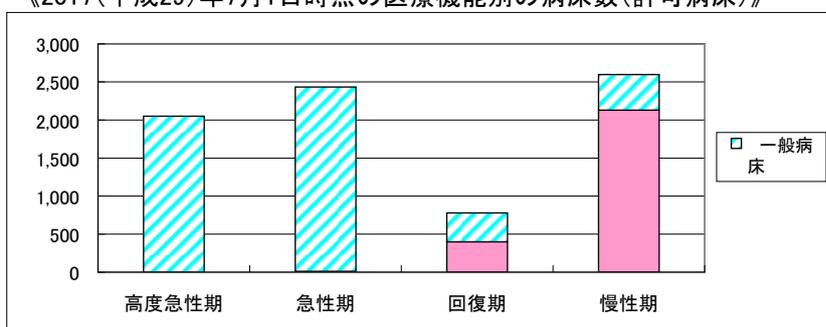
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる72施設（病院30施設、有床診療所42施設）のうち、72施設(100.0%)(病院30施設(100.0%)、有床診療所42施設(100.0%))が報告済み。
- ・平成29年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった72施設(病院30施設、有床診療所42施設)の稼働病床8,059床について集計したもの

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

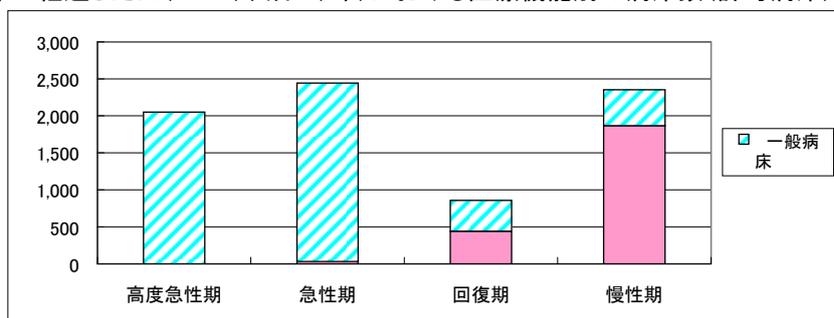


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	0	379	469	848
療養病床	2,050	2,422	400	2,129	7,013
合計	2,050	2,434	779	2,598	7,861
構成比	26.1%	31.0%	9.9%	33.0%	100.0%

(注)集計対象8,059床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)の病床が198床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2023(平成35)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	0	417	485	902
療養病床	2,050	2,411	440	1,868	6,831
合計	2,050	2,443	857	2,353	7,703
構成比	26.6%	31.7%	11.1%	30.5%	100.0%

(注)集計対象8,059床のうち、現時点の医療機能について未選択(休棟等)136床及び介護保険施設等への移行分220床は、上表には含めていない。